

鶴澤清治

×

杉本博司

三茶

さんちやしやみ

三味

日時：二〇一五年一〇月

二十三日（金）十九時開演

二十四日（土）十四時開演

二十五日（日）十四時開演

会場：世田谷パブリックシアター

主催：公益財団法人小田原文化財団

「三味線音楽を聴く」

空間構成：杉本博司

監修：野川美穂子

出演者：

豊竹呂勢大夫「人形浄瑠璃文楽座 太夫」

鶴澤清治「人形浄瑠璃文楽座 三味線」

鶴澤清志郎「人形浄瑠璃文楽座 三味線」

鶴澤清暲「人形浄瑠璃文楽座 三味線」

鶴澤寛太郎「人形浄瑠璃文楽座 三味線」

「聴く」は「気来(きく)」に由来するという説があります(日尾荊山『燕居雑話』)。「気に満ちた音が耳に入ってくる」、それが「聴く」であるということです。音に耳を傾け、音の息吹をとりこみ、音が鳴り響く空間も一緒に感じとること、それが「聴く」という行為と言えるのかもしれない。

今回の公演は、三味線音楽を「聴く」ことにこだわり、その楽しさを発見しよう、という催しです。三味線は、永禄年間(一五五八―一五七〇)に琉球から日本の本土に伝えられた楽器と推測され、以来、歌や語りなど、人間の声とともに、楽しまれてきました。さまざまなジャンルの三味線音楽があり、それぞれに、声の表現も三味線の音色も異なります。今回取り上げるのは、大坂生まれの義太夫節。江戸時代の前期、十七世紀の終わりに成立した浄瑠璃であり、音楽によって、物語の世界を生きたと描き出します。

公演は三部構成です。第一部の鼎談には、公演日それぞれに異なるメンバーが登場し、三味線音楽のよやま話を花を咲かせます。第二部では、人間国宝(芸術院会員)鶴澤清治が構成する「三味線組曲」を演奏。第三部では義太夫節の「卅三間堂棟由来」(平太郎住家より木遣り音頭の段:通称「柳」)を素浄瑠璃の形式で演奏します。数ある義太夫節のなかでも人気の高い名作です。「柳」の演奏は鶴澤清治です。

会場の空間構成は現代美術作家の杉本博司。東京では初公開となる杉本作品「月下紅白梅図」、安土桃山時代から江戸時代にかけて活躍した長谷川等伯(一五三九―一六〇〇)の作品「四季柳図屏風」などが舞台を彩ります。江戸時代には、贅を尽くした座敷でも楽しまれた三味線音楽。

ここ(三茶)の世田谷パブリックシアターで、(三味)の音(ね)にじっくりと耳を傾け、空間とともに、音の魅力を堪能してください。

さんちやしやみ

三茶三味

三味線音楽を聴く

三茶三味によせて

杉本博司

柳は緑 花は紅 と昔の人は申しました。今さらのように、あたりまえのことがあたりまえのようにしてある、そのことにはと気が付く。存在の不可思議に想い至ることが人生には肝要でございます。

柳に風とも申します。江戸の川柳に「気に入らぬ風もあろうに柳かな」というのがございます。いやなことがあっても風に身をまかせて争わない、憲法第9条の解釈でございます。もう一つ川柳「手折られる人に薫るや梅のはな」。梅の枝は折られても人によい香りをはこんでくれる、敗戦後の日本文化の指針でございます。

柳と梅、二曲の屏風の前で三味線の名曲の音色に耳を傾ける。近頃になく本物の贅沢でございます。

プログラム

一 鼎談

二十三日「金」

山村友五郎(日本舞踊・山村流六世宗家) とうせいこう(作家・クリエイター)

野川美穂子(東京藝術大学講師)

二十四日「土」

尾上菊之丞(日本舞踊・尾上流四代家元) 野川美穂子(東京藝術大学講師)

他

二十五日「日」

杉本博司(現代美術作家) 野川美穂子(東京藝術大学講師)

他

二 義太夫節 鶴澤清治構成「三味線組曲」

鶴澤清志郎(人形浄瑠璃文楽座三味線)

鶴澤清暲(人形浄瑠璃文楽座三味線)

鶴澤寛太郎(人形浄瑠璃文楽座三味線)

三 義太夫節「卅三間堂棟由来」(通称「柳」)

豊竹呂勢大夫(人形浄瑠璃文楽座 太夫)

鶴澤清治(人形浄瑠璃文楽座 三味線)

◎公演日程

二〇一五年十月二十三日「金」 十九時開演
二十四日「土」 十四時開演
二十五日「日」 十四時開演

◎会場 世田谷パブリックシアター

◎チケット料金(全席指定・税込)

一般・A席 4500円(二階二階席)

B席 4000円(三階席)

◎前売開始

一般発売 7月25日「土」

◎チケット取扱

世田谷パブリックシアターチケットセンター

03-5432-1515(10:00~19:00)

PC <http://setagaya-pt.jp/>

携帯 <http://setagaya-pt.jp/m/>

※車椅子スペースのご案内(定員あり・要予約)
料金・A席車椅子スペースが該当するエリア料金より10%割引(付添者は1名まで無料 申込:ご希望日の前日19時までに03-5432-1515(世田谷パブリックシアターチケットセンター)へ)

※託児サービスのご案内(定員あり・要予約)
料金・2000円 対象:生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください) 申込:ご希望日の3日前の正午までに03-5432-1526(世田谷パブリックシアター)へ

※未就学児童はご入場いただけません。

※開演後は本来のお席のご案内場合がございます。ご了承ください。



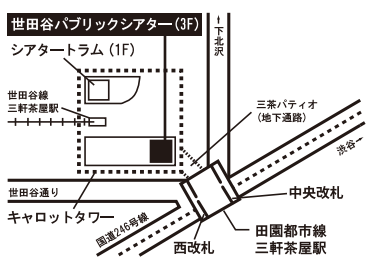
日本万国博覧会
記念基金

◎お問い合わせ

公益財団法人小田原文化財団

TEL 03-3473-5235(平日11:00~17:00)

<http://www.odawara-af.com>



世田谷パブリックシアター
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1526
東急田園都市線三軒茶屋駅(渋谷より2駅・5分)より
地下通路にて直結/世田谷線三軒茶屋駅となり